

2021年11月11日

各位

会社名 株式会社アジアゲートホールディングス
 代表者名 代表取締役会長 松沢 淳
 (コード：1783 ジャスダック)
 問合せ先 IR推進室長 田野大地
 (TEL 03-5572-7848)

連結業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年11月13日公表の2021年9月期(2020年10月1日～2021年9月30日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、当社は、2021年9月期第4四半期連結会計期間(2021年7月1日～2021年9月30日)において、下記のとおり特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

一. 連結業績予想の修正について

1. 業績予想の修正の内容

2021年9月期(2020年10月1日～2021年9月30日)通期連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	7,671	212	87	10	0円18銭
今回修正予想(B)	6,894	335	202	△992	△15円04銭
増減額(B-A)	△777	123	115	△1,002	—
増減率(%)	△10.1	58.0	132.2	—	—
(ご参考)前期実績	2,474	△929	△1,304	△3,723	△64円44銭

2. 業績予想の修正の理由

当社グループの2021年9月期連結業績予想につきましては、ゴルフ・リゾート事業売却は予定通り完了いたしました。リアルエステート事業において、コロナ禍の長期化によるホテル事業の収益悪化に加え、一部の販売用不動産売却を次期以降に見送ったことにより、売上高は期初計画に対し減少いたしました。

一方で、不動産物件毎の売却価格が当初予定を上回ったことや、期初に予定しておりました新規事業検討に係る人件費やリサーチ費用等の費用について、資金や人材といった経営リソースを不動産事業へ集中するため、新規事業投資の見送りに伴い結果として販売管理費が削減されたことにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ期初計画を上回りました。

しかしながら、当社の連結子会社が保有する投資有価証券の当期末時点の時価が取得価格の50%未満の価格まで減少しており、短期的な価格回復が困難であるとの判断から、特別損失として1,087百万円の投資有価証券評価損を計上することとなりました。そのため、当期純利益は期初計画に対し大幅に減少し992百万円の当期純損失を計上することとなりました。

二. 特別損失の計上について

(1) 投資有価証券評価損

当社の連結子会社が保有する投資有価証券のうち、時価が取得価額の 50%を下回ったものについて、当該時価と簿価との差額を減損処理による投資有価証券評価損として 1,087 百万円を計上いたしました。

(2) その他の損失

上記のほか、子会社の事務所移転に伴う固定資産除却損失として 14 百万円、国内未上場会社株式の売却に伴う投資有価証券売却損失として 10 百万円、ゴルフ・リゾート事業の廃止に伴う子会社売却に伴う子会社株式売却損失として 10 百万円を計上いたしました。

三. 特別損失の業績に与える影響

上記の特別損失は、「一. 連結業績予想の修正について」の内容に反映済みであります。

なお、2021 年 9 月期連結業績の確定値につきましては、2021 年 11 月 12 日（金）発表予定の「2021 年 9 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご確認ください。

以上